秋季特集号

プロパン・ブタンニュース

＝主な紙面＝

☆消費増税後対応ルポ（10～12面）
☆業界潮流・四つのキーワード（16～17面）
☆業界変革へ―都市ガス事業戦略（18～19面）
☆災害報道力メラアイ（20～21面）
☆実装本格化／ＬＰＷＡ動向（27～28面）

工場オペ改善 ＢＣＰ後押し オートコンポ

フォークリフト自社充填 常時操業体制を盤石化

パウダーテック 柏市

製造現場で稼働するＬＰガスフォークリフトのオペレーション改善にカグラベーパーテック（本社・尼崎市、玉井健一社長）の簡易ＬＰガススタンド「オートコンポ」が役立っている。労働災害リスクのある容器交換を不要にするとともに、容器発注の手間や置き場確保の悩みを解消できるのがポイント。油類燃料と比べ品質劣化しにくいＬＰガスを備蓄することで災害時の事業継続や地域貢献に活用できることも製品の魅力を高めている。

機能性磁性粉メーカーのパウダーテック（佐藤祐二社長）は4月、柏市の柏工場にオートコンポを導入した。燃料コストの圧縮や省CO_2などに役立つＬＰガスフォークリフトの使い勝手を高めるのが狙い。働き方改革や国土強靱化への対応も視野に入れた。

同社は１９５２年、日本初の鉄粉製造会社として発足。粉末冶金用や使い捨てカイロ用などの各種鉄粉、食品の鮮度保持剤「ワンダーキープ」を製造販売している。現在の主力はオフィス用複写機や商業印刷の現像剤として利用される電子写真用キャリアで、世界シェア７割を誇る。

工場の稼働は24時間体制。操業を下支えするのがＬＰガスフォークリフトだ。13年前、環境負荷低減やコスト削減などを目的にガソリン燃料のフォークリフトをＬＰガスに燃料転換した。足元で30台を運用している。

ただ、運用を巡っては数年前から懸案が浮上していた。ＬＰガス充填配送業務の人手不足などを背景に、土日・祝日の容器配送が難しくなってきたためだ。キャリア事業部の今村義文次長は「ＬＰガスをフォークリフト用燃料として使用する場合、保管場所には高圧ガス保安法の規制がかかる。当社の場合、15キログラム容器の最大貯蔵数は33本。土日は操業に支障ないが、３連休ともなると困難さを増す見通しとなった。このため、ＬＰガス仕入れ先のかもめガス（本社・船橋市、塚原真社長）と期間中の配送計画を話し合い、将来を見据え双方の業務効率化につながる代替案も検討した。その中で持ち上がったのが工場敷地へのオートコンポ導入だった。

事情は変わる。休みの前後に時間指定で容器を運んでもらうなど調整し、何とかガス切れせずに済んだと胸をなで下ろすこともしばしばだった」と振り返る。

だが、今年は改元絡みでゴールデンウイークが最大10連休に延伸。これに働き方改革に伴う有給休暇取得の影響などが重なり、配送管理はさらに困難さを増す見通しとなった。このため、ＬＰガス仕入れ先のかもめガス（本社・船橋市、塚原真社長）と期間中の配送計画を話し合い、将来を見据え双方の業務効率化につながる代替案も検討した。その中で持ち上がったのが工場敷地へのオートコンポ導入だった。

柏工場で稼働するオートコンポの前で（左から）かもめガス千葉支社の多田倫之氏、パウダーテックの今村義文キャリア事業部次長、工務部の白石亮氏、秋山忠義氏、カグラベーパーテックの中塚直哉氏

容器流通を合理化

コスト削減 業務省力化 かもめガスが提案

オートコンポのユーザー層はタクシー会社や教習所がメーン。一方、近年はＬＰガスの経済性や災害に強い分散型エネルギー特性に着目した一般企業が、ＬＰＧ車とセットで導入するケースが増えている。かもめガスは提案の際、設備が単純なオペレーションの改善にとどまらず、働き方改革や国土強靱化にもマッチすることを強調。▽容器積み替えがなくなり労災発生リスクを軽減▽働き手の身体的負担を軽減▽発注業務を省力化でき容器置き場の確保も不要▽備蓄燃料を持つことでＢＣＰを強化できる――ことなどを訴えた。

供給事業者のかもめガスにとって、オートコンポは自社供給基盤の強みを発揮できる製品でもある。同社は千葉県内に7拠点、茨城県内に5拠点のサービス網を構築。配送効率化や災害対応の観点からバルク供給を推進してきた。このノウハウを生かしてフォークリフト向けの燃料をバルク供給に転換すれば、供給安定性の確保とともに配送効率化で燃料コストの圧縮も可能と見込んだ。

「ものの売り買いは、いかに無駄なものを省けるかだ。オペレーションの改善と経費削減を実現できるオートコンポの設置は、製造業の事業基盤強化につながるビジネスモデルだと感じた」と話す今村次長。業務の省力化やコスト削減面で効果があるとの判断から、設備の導入を決めたのは昨年暮れのことだった。

容器交換が不要になりいつでもＬＰガスを充填できるようになった

けがや腰痛無縁に

備蓄増え有事も安心 発電機導入視野

大型連休前に駆け込みで工事を終え、4月からＬＰガスを充填できる仕組みとした。導入から数カ月を経て、ドライバーの評価は上々だ。工務部で機械設備を担当する秋山忠義氏は「容器の積み替えがなくなり、交換時のけがや腰痛のリスクなどが解消されるのは大きなポイント。何より常時ＬＰガスを充填できるため、燃料切れの心配がないのは心強い。連休があっても事前に構えることなく、余計な負担がなくなったと実感している」と手応えを示す。

備蓄燃料の多面的利用も検討中だ。工務部で電気設備を担当する白石亮氏は「２０１１年の東日本大震災では計画停電を経験した。当時は重要な設備だけは稼働できるよう、ディーゼル発電機を用意して対応した。今後はＬＰガスで稼働する発電機を備えるなど、有事の際の事業継続体制を整えていければ」と展望する。ＬＰガスの備蓄を生かし、災害時などの地域貢献のあり方も探っていく方針だという。

オートコンポは経済産業省の「災害時に備えた社会的重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金」の対象設備でもある。今年度補助からは、ディスペンサーを含めた導入経費の３分の2または2分の1の助成が受けられるようになった。カグラベーパーテック国内営業部首都圏エリア担当の中塚直哉氏は「フォークリフト向け燃料をオートコンポからの供給とすることで、経費削減とＢＣＰ、さらに労災防止の〝一石三鳥〟を実現し、エンドユーザーさまの経営力向上とＬＰガス需要の底上げに寄与していきたい」と力を込める。

機能性磁性粉メーカー、パウダーテックの柏工場。ＬＰガスフォークリフト30台が24時間体制の操業を支える

KAGLA Eco Friendly
フォークリフトに関する様々なお困りごとを解決いたします！
カグラベーパーテック株式会社
http://www.kagla.co.jp

新規事業部：兵庫県尼崎市立花町1-2-1 06-6429-2691
大阪オフィス：兵庫県尼崎市立花町1-2-1 06-6429-2691
東京オフィス：東京都中央区日本橋茅場町1-3-9 03-3661-7681
仙台オフィス：宮城県仙台市青葉区錦町1-10-11 022-722-8745
名古屋オフィス：愛知県清須市西枇杷島町地領1-9-15 052-505-7011
広島オフィス：広島県広島市東区光町 1-6-18 082-569-8770
福岡オフィス：福岡県大野城市仲畑1-35-19 092-573-1850